

# ブドウ「BKシードレス」における台木「イブリット・フラン」の利用

台木「イブリット・フラン」の利用による「BKシードレス」の果実品質及び収量の向上

## 背景・目的

- ブドウ台木は、「テレキ5BB」（以下、テレキ台）が一般的に利用されています。しかし、台木の種類によって収量や品質が異なるとされており、品種ごとの詳細な調査は行われていません。
- 「BKシードレス」は摘粒作業が少ない省力的な黒系品種として、県内でも栽培され始めています。
- そこで、本県の黒ボク土において、強樹勢台木「イブリット・フラン」（以下、フラン台）の利用が「BKシードレス」の果実品質及び収量に及ぼす影響を調査しました。

## 成果の内容

- 「BKシードレス」において、フラン台はテレキ台よりも糖度が高くなり、酸含量は同等以下となりました。また、果房重、果粒重が大きいため、収量が多くなりました（表1、表2、図3）。

表1 異なる台木「BKシードレス」の果実品質に及ぼす影響

年度	台木	果房重 (g)	粒数 (個)	果粒重 (g)	果皮色 (c.c.)	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)
2018	フラン台	429.2	39.2	10.9	5.7	20.0	0.40
	テレキ台	403.1	38.5	10.9	4.5	19.1	0.39
2019	フラン台	494.8	36.9	13.4	5.3	18.9	0.41
	テレキ台	431.0	35.9	12.2	5.7	18.3	0.46
2020	フラン台	407.1	34.5	11.8	6.5	22.1	0.50
	テレキ台	403.1	35.5	11.3	6.6	20.7	0.55
2021	フラン台	534.1	42.5	12.7	6.2	18.2	0.42
	テレキ台	455.0	41.9	11.0	5.0	17.6	0.46

表2 異なる台木「BKシードレス」の収量に及ぼす影響（全果房調査）

年度	台木	果房重 (g)	収量 <sup>z</sup> (kg/10a)
2020	フラン台	344.5	1098
	テレキ台	302.3	881
2021	フラン台	497.2	1633
	テレキ台	450.2	1491

z：樹冠面積当たりの収穫重から換算



図1 「BKシードレス」の収穫果房（左：フラン台 右：テレキ台）

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 高品質で大玉の果房が栽培できるため、所得向上につながります。
- 普及対象地域・面積 児湯地域 栽培面積 約47ha

## 留意点

- 農業試験場内（宮崎市佐土原町）の露地雨よけトンネル圃場（黒ボク土）における結果です。
- フラン台を利用する場合は、事前に苗木業者に注文する必要があります。